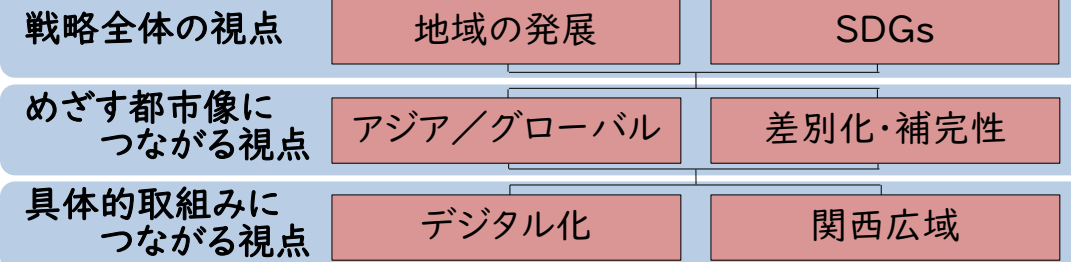


戦略策定の趣旨

◆ポストコロナに向けた大阪・関西経済の再生・成長の柱として、独自の個性・機能を持つ国際金融都市を形成し、東西二極の一極として大阪のさらなる飛躍につなげていくため、戦略を策定

重視すべき視点



めざす国際金融都市像

◆国際金融都市実現のために重視すべき視点を踏まえ、2つの都市像を掲げて取組む

**アジア・世界の活力を呼び込み
「金融をテコに発展するグローバル都市」**

**先駆けた取組みで世界に挑戦する
「金融のフロントランナー都市」**

戦略の柱と重点取組み

※重点取組みは例(イメージ)であり、実現可能性や効果等を踏まえて今後検討

1. 金融をテコに発展するグローバル都市

- (1) 魅力的なまちづくりに向けた金融面からの推進
 - ・万博を契機とした社会実験・実装プロジェクトへ資金が国内外から流入する仕組みづくり など
- (2) スタートアップおよび地域活性化のための多様な資金調達の支援
 - ・スタートアップに対するさらなる投資促進に向けた支援
 - ・STO(※1)など新たな手法を活用した資金調達の促進に向けた取組み など
- (3) レジリエンス向上の観点による拠点機能の強化
 - ・金融機関によるBCP・デュアルオペレーション拠点の設置・機能拡充及び支援 など
- (4) 国内の金融市場の活性化
 - ・金融商品に係る所得課税の損益通算範囲の拡大等(デリバティブ取引の追加)に向けた働きかけ など

2. 金融のフロントランナー都市

- (1) エッジの効いた先駆的な金融商品・市場の形成
 - ・アジア随一のデリバティブ市場に向けた先駆的な商品群の展開 など
- (2) サステナブルファイナンス先進都市に向けた取組み
 - ・企業におけるSDGs債(ソーシャルボンド・グリーンボンド等)の発行促進 など
- (3) 金融サービスに関する規制の見直しに向けた働きかけ
 - ・レギュラトリー・サンドボックス(※2)等の活用を通じた規制の見直しに係る働きかけ など
- (4) 金融分野における高度人材の育成
 - ・高等教育等における金融・起業・テクノロジー等に関する人材育成 など

1、2に共通する取組み

- (1) 外国人にとっても魅力的な住環境の整備
 - ・教育・医療等における環境整備 など
- (2) 国内外から企業・人を惹きつけるビジネス環境の整備
 - ・高度外国人材などの受入の推進に向けた取組み
- (3) 情報発信・プロモーション
 - ・在外公館・政府系機関・自治体事務所・民間ネットワークなどを活用した戦略的なPR活動 など
- (4) 海外との連携
 - ・めざす国際金融都市像の実現に向けた連携先の検討 など
- (5) 大阪府市による先駆けたインパクトのある取組み
 - ・金融庁と連携した各種手続支援のための英語対応ワンストップ窓口の設置 など

※1 ブロックチェーン等の分散型台帳技術を利用し、有価証券に表示される権利を裏付けとするセキュリティトークンを発行して行う資金調達の総称

※2 新しい技術やビジネスモデルの社会実装に向け実証を行い、得られた情報やデータを用いて規制の見直しに繋げていく制度

戦略の取組期間等

- ・最終年度(2050年:カーボンニュートラル目標年度)を見据えて、短期(2025年大阪・関西万博まで)、中期(2030年)の期間を設定し、都度レビューして、その時の情勢を計画に反映する。
- ・戦略目標は、めざす都市像の達成度合いを計測可能な指標や、重点取組みごとのKPIについて、年度末の戦略策定に向け検討していく。